



EHIME HOSPITAL NEWS

## 愛媛病院ニュース

2010

第20号

7月1日発行

題字: 故阿久津弘名誉院長

発行者: 愛媛県東温市横河原366 国立病院機構愛媛病院 発行責任者: 院長 西村一孝 <http://www.ehime-nh.go.jp>

上福寺(東温市松瀬川)の楠(東温市指定天然記念物)  
 胸高回り5.0メートル 高さ26.5メートル 根回り8.0メートル(直径) 推定樹齢530年

も

&lt;

じ

## Contents

|                   |   |
|-------------------|---|
| 着任ごあいさつ           | 2 |
| 看護部長 渡川明子         |   |
| 創刊                | 2 |
| 愛媛病院循環器科NEWS      |   |
| 新任Dr紹介            | 3 |
| はじめまして宮崎です        |   |
| こんなんでました～         | 3 |
| カルテバッグ完成          |   |
| 初心者マークはピンク色       | 4 |
| 新採用者の名札ストラップ1年間統一 |   |
| 看護の日行事            | 4 |
| ナイチンゲールが健康相談      |   |

|                 |   |
|-----------------|---|
| 医療安全管理室だより 第19回 | 5 |
| 医療安全ハンドブックできました |   |
| 医療の輪            | 5 |
| 繋がる地域医療連携(近藤内科) |   |
| The Rookies     | 6 |
| 基礎看護技術研修を終えて    |   |
| 新採用者抱負          |   |
| 看護学校の頁 ～学び舎から～  | 7 |
| 看護の日に奉仕活動       |   |
| 第9回 入学式         |   |
| ちよつと言ひ放し        | 7 |
| 外来診療担当医表        | 8 |

※弊誌の基本方針として、掲載写真については原則ご本人様の了解を頂いております。



## 着任ごあいさつ

左手に深く切り込んだ山々、右手には穏やかな瀬戸内の海を横目に車を走らせると、やがて西日本最高峰の石鎚山の裾野にあるサービスエリアが見えてきます。さらに進むと見事に咲き誇った桜三里の桜に迎えられ、やっと愛媛に辿り着いたという思いがしました。4月1日付けで国立療養所大島青松園から参りました渡川です。四国の病院を転々としている間に多くの先輩や仲間と出会い、愛媛県への転勤は初めてにもかかわらず、里帰りしたような妙に懐かしい感覚を覚えました。温かく迎えてくれる人がいる心強さと安心感そして再会を喜び合える幸せを感じることができました。

さて、昨今の医療事情はめまぐるしく変動し、医療紛争やクレームの増加から、防衛医療・萎縮医療に向かっているのではないかとこの見方もあります。「チーム医療の推進に関する検討会とりまとめ」を受け、厚生労働省ではチーム医療推進会議が開催されました。その中で看護師の役割拡大や看護師以外の医療スタッフの役割拡大についてワーキング・グループを設置し検討していくようです。すでに看護師は専門看護師や認定看護師など専門性の高い看護師が活躍しておりますが、あらたに特定看護師（仮称）やNP（ナース・プラクティショナー・診療看護師）についても議論されることでしょう。クラクラするほど看護界は変貌しています。

早！ 愛媛病院で2ヶ月が経過し、地域住民と愛媛病院との強い絆が少しずつ見えてきました。変貌する看護界の中であって、地域に根ざしたこの愛媛病院の看護師に求められる「看護」とはどのようなものか、そして将来もなお地域住民に愛され、「病気で辛い時には愛媛病院へ」と頼りにされる病院であり続けるためにどうすれば良いのかを看護スタッフとともに追求できればと考えています。世の流れを見据えつつ、目の前にいる1人ひとりの患者様ときちんと向き合い、心のこもった看護を届けたいものです。どうぞよろしくお願いいたします。



看護部長 渡川 明子



## 愛媛病院循環器科NEWS



当院の総合的なPRは弊紙が担っていますが、各専門分野のPRはというと殆ど無いのが現状でした。そこで今回、循環器科の船田医長が中心となって、当院循環器科の特性や専門性を広く知って頂くことを目的に、「愛媛病院循環器科NEWS」を編集し、5月1日に創刊しました。

循環器科の医師でもある岩田副院長が、巻頭で創刊の目的を述べた後は、循環器科医師の自己紹介、当院で行える検査や治療、心臓リハビリの紹介へと続き、1病棟（循環器科病棟）の概要と看護目標を載せ、最後は船田医長のごあいさつと当院循環器科の業績紹介となっています。

関係病院・医院・施設へは心臓リハビリのパフレットと共に送らせていただきました。

これを機に、医療連携がより一層深まれば…と考えています。

「愛媛病院循環器科NEWS」は、外来ロビーにも置いてありますので是非ご覧ください。





## 新任 Dr 紹介

### はじめまして宮崎です

はじめまして。4月より当院に転勤になりました神経内科の宮崎由道（みやざきよしみち）です。

出身は三重県松阪市で、地元の私立三重高校を卒業し、愛媛大学入学を機に愛媛県に移り住むこととなりました。大学卒業後は松山市にあります市民病院にて2年間の研修を受けた後、愛媛大学老年内科に大学院生として入局しました。その後1年間、愛媛大学病院にて勤務したのち、徳島大学神経内科に2年間国内留学しておりました。この度、大学院の卒業を控え、愛媛県に戻ることとなり、本年度より愛媛病院神経内科に勤務することとなりました。

愛媛県には学生のころも含めると10年以上住んでおりますが、東温市に移り住むのは今年がほとんど最初となります（通勤、通学は毎日のようにしていただのですが…）。2年ぶりの愛媛県であり、また東温市での生活が初めて（夜思ったよりも冷え込みます）で戸惑うことの多い毎日をご過ごしております。不思議なもので、医師として働き始めてまだ6年程度ですが、2年ぶりに帰ってくると、また違ったものの見え方ができるようになっているためか、まるではじめての土地に来たようにも感じております。悪く言えば、右も左もわからない毎日、よく言えば、新鮮な毎日を送っていると言ったところでしょうか。

趣味と言えるようなものは特に無いのですが、強いて挙げるならば旅行写真でしょうか？休日などは車でふらっと出かけ、きれいな景色や建物、歴史のある寺社仏閣などを探して回り、写真を撮って集めるのがちょっとした気晴らしになっております。最近のお気に入りとしては、北条海岸で眺める夕日がお気に入りです。

現在大学院生4年生でもあり、国内外の学会への参加などで不在にすることも多く、患者さま、病院職員の方々にご迷惑をおかけすること多いと存じます。神経内科医としてはまだまだ駆け出しの身ではございますが、拙い経験を生かし、医療を通して社会貢献へと繋げることができたら幸いです。なにとぞよろしくお願い申し上げます。

こんなんできました～

カルテバッグ  
完成

当院のカルテは、電子カルテではありません。レントゲンフィルムは一枚一枚プリントされ資料袋で保管してきました。患者さんが入院されるとカルテ・フィルムが入った資料袋は病棟管理、退院すると外来管理になります。

入院中の検査では、資料袋はかなりの重さになるため、個人情報の管理を兼ねて看護師が資料袋とカルテを持ち、患者さんと一緒に院内を移動していました。

2月よりフィルムレス化され、レントゲン撮影したフィルムをパソコンに取り込むことで資料袋が不要になり、外来、病棟では管理しなくなりました。検査時も資料袋の持ち運びは不要になってきました。

今回資料袋がなくなったことにより、歩ける患者さんには、ご自身でカルテを持って検査室へ行っていただくことになりました。その際患者さんが転倒したりすることのない方法を医療安全部会で検討した結果、患者さんが移動しやすい形、手で下げたり肩にかけたりができる鍵付きの袋にしました。また患者さんが迷うことのないようにカルテバッグに院内の地図を取り付け、また病棟名をプリントしたシールを張り付けました。

使用開始時は医療安全新聞に載せ、カルテバッグを持っている患者さんが迷ったりしないように全職員にお知らせをお願いをしました。

病棟の看護師の意見は、「協力いただける患者さんに、カルテを持参していただくことで、病棟を離れることな

く看護が継続できるので良い」との意見でした。

検査室は、「特に問題なくいい。院内の地図があり説明もしやすい」との意見でした。

患者さんは、「外来では、自分が持参していたことなので困ることはない。特に問題ない」との意見でした。

カルテバッグの導入は特に問題はないようですが、今後も経過を見ていきたいと考えています。







## 初心者マーク はピンク色

## 新採用者の名札ストラップ

1 年 間

統一

当院職員の名札は、それぞれが所属する部によって色分けされています。(統括診療部・緑 看護部・赤 事務部・青 看護学校・黄) 名札の職名の下ラインと、首にかけたストラップがそれです。約400人の大所帯では誰がどこにいるのか、あの人はどこの部署なのか…分り



難しいことからこのようなシステムを採用しています。

ところで、今年度も4月1日付けで20数名の新採用者がありました。その殆どは、初めて社会人となる、この春看護学校を卒業したばかりの新人ナース達です。彼・彼女達は初めて出た社会という大海の中で、不安と期待に包まれながら懸命に仕事を覚え、職場に馴染もうと頑張っています。

職場のそして社会の先輩として我々先輩職員は、『優しく時に厳しく守り育てていかなければならない。』との思いから、採用の日から1年間は、所属する部署や職種に関わらず、ネクストストラップの色をピンク色で統一することになりました。こうすることで、ひと目で新採用職員と分かり、戸惑っていることがあれば声をかけ易く手助けし易いだろうとの思いからです。

そして、採用の日から1年が経過すると、新採用者は管理課を自ら訪れ、それぞれが所属する部のストラップと交換してもらうことになっています。これは職員自らが1年が過ぎたことを自覚し、『もう甘えは赦されない。』と決意を新たにしてもらうためです。

ピンク色のストラップの職員が居りましたら、どうか温かい目で見守ってやってください。

看護の日

## ナイチンゲールが健康相談



今年も「看護の日」に<sup>かたて</sup>隻手薬師(香積寺)に伺い、健康相談を行いました。5月12日はナイチンゲールの誕生日ですが、この日は薬師如来像(隻腕の像で、これが『隻手薬師』の名の由来になっています)が同寺の柳の木の下から掘り出されたことに由来する月縁日になっており、たくさんの方が参拝にこられます。薬師如来とは左手に薬壺を持って、人々の病に依じて薬を施し救う仏様で薬壺の中には体、心、社会などのあらゆる病をなおす霊薬が入っているといわれているそうです。近代看護教育の産みの親といわれるナイチンゲールと薬師如来の意外な共通点にご縁を感じました。

境内に入ると、屋台が並び、昔懐かしい骨董市も開かれており、線香の香り、読経の声や御詠歌、日常と離れた空気が流れています。お寺の好意で準備していただいたテントの中で身長、体重測定、体脂肪測定、血圧測定

を行いながら相談を受けました。「今年もきたよ」「また会えたね」と声をかけてくださる方もあり、スタッフも自然と笑顔になります。「愛媛病院にはずっとかかっとるよ」「愛媛病院いうたら昔の療養所かいな」相談しながら病院の話も弾みました。相談は高齢者が多く、血圧が高い、体脂肪が高い、膝が痛いなどの内容が多く、昨今の高齢社会、生活習慣病の増加を感じました。当日は麗かな春の日差しの中123名の方がこられました。

看護の日の活動として、隻手薬師での健康相談を始め、10年以上が経過しました。新しいことを模索していくことも大切ですが、ひとつの活動を継続していくことの大切さを再認識した看護の日でした。

毎年、温かく迎えてくださる隻手薬師の皆様、ポスター掲示をさせていただく地域の皆様、そして毎年参加してくださる地域の皆様に感謝します。





# 医療安全管理室だより

⑩こんなことをしています

## 医療安全ハンドブック できました

医療という現場は、情報・病状・治療・部屋の位置などが刻々と変化しています。そうした中で同じ色のカルテに同じような指示が出て医療を提供しているのが現状です。ヒヤリハットやアクシデントがいつ発生してもおかしくないというのが偽らざる現実です。その中で従事している職員のすべての行為はかけがえのない命に繋がっているために緊張をしながら、安全第一に医療の提供に努めています。

今回、全職員が医療安全に対して共通の認識ができるように、医療の現場で、起こりやすい事故防止対策や問題発生時に適切な対応ができるようにと、ポイントをまとめた医療安全ハンドブックを作成しました。

最初に当院の病院理念を記載し、新人でも医療安全ハンドブックがあれば対応できるようにと欲張り、医療事故防止の基本を皮切りに17項目にわたるポイントを載せ、盛りだくさんの内容になりました。最後は連絡時間の短縮を目的として、主要な院内内線・PHSを記載しました。

配布1カ月後の感想を一部紹介すると、

医師からは「振り返るのにとてもよい。必要な内容がすべて網羅されている。電話番号が良い。」

看護師からは「カラフルで見やすく図も入ってわかりやすい。」「コンパクトで携帯しやすい。」「自分の検査データを記入する欄があるので自己管理に役立つ。」「現場で起こりやすい問題・確認など必要なことが見やすい形でまとめられている。」「時間があるときに手軽に見ることができる。」「字が小さいので読みにくい。」「使用していると破損や折れ目がついてしまう。」

コメディカルからは「関連が少ないので少しさみしい。」「時間があるときに手軽に見て勉強になる。」

等のいろいろな意見ができました。

日々の業務で、職員の一人ひとりが常にポケットに携帯し、不安な時、自信のない時、いつでも確認して、患者さんの安全、患者さんが安心できる医療の提供につなげてほしいと考えています。今後定期的な改訂は考えていますが、ぼろぼろになるほどに使用し、色々な意見を寄せて頂けたらと考えています。



## 医療の輪

### 繋がる地域医療連携



## 近藤内科

当院では、在宅診療・プライマリ・ケア(初期治療)を中心に行っており、詳しい検査・治療は愛媛病院に協力機関かかりつけ医として紹介し連携をとってまいりました。

また、高齢社会といわれるなか介護保険施行時より通所リハビリテーション・訪問看護を併設、入院後要介護状態となって退院されてくる方を医療・介護で受け入れる体制を整えております。

リハビリについては医療の視点から①身体リハビリ(回復期リハビリ、転倒予防、除痛、全身耐久性の向上)②口腔リハビリ(嚥下訓練、気道感染対策、食事指導等)③脳リハビリ(認知症リハビリ、精神ケア等)の3つの方針を掲げて行っております。

地域の方々に医療・介護において貢献できればと思いスタッフ一同日々精進しております。今後ともよろしくお願いします。

施設名 近藤内科  
住所 松山市中野町404  
電話 089-963-3836  
FAX 089-963-3828  
院長 近藤 一  
診療科目 内科・消化器・リハビリ  
診療時間 月・火・水・金 9:00~17:30  
木・土 9:00~12:30  
休診 日曜・祝日  
※往診はご相談下さい。





# 基礎看護技術研修を終えて

## 新採用者抱負

23病棟 田中 一生

今年度新採用となりました、23病棟看護師の田中一生といいます。宇和島市の出身で高校を卒業後、砥部病院に勤務しながら松山看護専門学校を卒業しました。

愛媛病院は、6歳の頃入院させていただいた経験があり、そのときの看護婦さんとの関わりがとても思い出に残っていて、看護師の資格を取ったらこの病院で働きたいなと看護師の仕事を目指すようになってからずっと心に抱いていた職場でした。

愛媛病院で勤務させていただくにあたって、自分の看護技術や知識でやっていけるか不安があり新人技術者研修を受講させていただきました。新人技術者研修は実技講習も含まれ担当の看護師さんの指導のもと手順の一つひとつを再確認するとともに、医療安全や標準予防対策などについて理解を深めることができました。

今は一日も早く病棟での看護ケアを覚え、患者様・病棟のスタッフとのコミュニケーションをとおりチームの一員としての信頼を築いていきたいと思っています。これからの目標は、色々な研修に参加し、視野を広め自分にあった看護の領域を見つけ学習を積み認定看護師の資格を取り、地域医療に貢献できる医療従事者になることです。

一生懸命頑張りますのでこれからよろしくおねがいします。

1病棟 田中 太郎

看護師としてまた社会人として一步を踏み出す期待と不安を胸にかかえて、研修が始まりました。研修では、今まで学校や実習で学んできた知識を再度実践することができました。

先輩看護師に指導して頂きながらの技術練習では、頭の中が真っ白になったり、注射器を持つ手が震えたり、額から汗が吹きだしたりと過度の緊張でうまく実施できませんでした。そんな私達に、先輩看護師は一つひとつ丁寧に指導して下さり、期待に応えたいという気持ちになりました。また、頭では理解できていても、いざ実施になるとできなくなるということを実感し、技術練習を重ねていくことが必要だと強く感じました。

看護技術を磨くことも大切ですが、初心を忘れず元気で明るい看護師でいたいという今の気持ちをいつまでも大切にしていきたいと思います。少しでも早く一人前の看護師になれるよう、日々向上心を持って取り組んでいきたいです。

イエー!!



企画課 西村 真史

4月より愛媛病院企画課へ配属となりました西村と申します。主に病院の財務管理の仕事を担当させていただいております。病院での勤務は初めてで、着任してからは業務や宿直当番など戸惑うことも多々ありましたが、何とか周りの方の支援や助言のおかげで、徐々に慣れていっているところです。

さて、愛媛病院の最初の印象としては、広大な敷地で自然に囲まれた静かな環境の中に立地している素晴らしい病院で、その中の一員で仕事ができることに改めて心が引き締まる思いがしました。また、先般は、広島県において新人研修があり、勉強や懇親会を通じて同期の方と親睦を深めることができました。

ところで、現在、私は趣味でピアノと風景写真を撮っています。直接患者さんの医療に携わることはありませんが、こうした趣味を活かし、今後は、ボランティア活動などを通じて少しでも多くの患者さんの奉仕に寄与できればと考えています。さらには、機構の理念にもあります、患者さんの目線に立った丁寧な対応を日頃より心掛けたいと思います。

まだまだ未熟者ですが、今後ともどうぞ宜しくお願い致します。



理学療法室 丸橋 尚也

みなさんはじめまして。4月1日から愛媛病院に採用になりました理学療法士の丸橋尚也(22歳)です。実家は今流行りの海と山しかない高知です。学生時代に県外に行くことはあったのですが、社会人として一人で生活するのは初めてで、最初は戸惑うことばかりで大変でした。しかし、職場である機能訓練室の諸先生方や先輩方に大変優しくして頂きなんと少しずつ慣れてきて、業務に参加することができるようになりました。

今回、この場をかりて自己紹介していきたいと思っています。私は高知県土佐市の宇佐(USA)出身で22年間ずっと海と山に囲まれて過ごしてきたせいか、愛媛県がすごく都会に感じています。リハビリの勉強は高知リハビリテーション学院で学び、今年の春からリハビリ業務に携われることを大変嬉しく感じています。

そんな私の趣味は海全般のスポーツです。愛媛にきて海が遠いということを知り少しさびしい思いです。地元の高知から引っ越して横河原にきた時の感想は「地元より街だなあ…」でした。

まだまだ社会人としても、理学療法士としても未熟ではありますが、第一に患者さんのことを考え、より最適なアプローチをしていけるように精進していきたいと思います。最後に諸先生方や看護師、先輩方には不明点などお聞きすることがあると思いますが、その時は温かい目でご指導のほど宜しくお願いいたします。



The Rocks



# 看護学校の頁

～学び舎から～

## 第九回 入学式

### 看護の日に…奉仕活動

5月12日は『クリミヤの天使』と呼ばれたナイチンゲールの誕生日です。それにちなんで1990年に看護の日が制定されました。

本校でも、毎年この日に合わせて学生による奉仕活動を行っています。今年も1・2年生約80名が午後の2時間を使って、日頃実習でお世話になっている病棟の車椅子磨きや、院内の除草作業に汗を流しました。



先生、きれいに撮ってネ～



満開の桜が、澄みきった水色の空にやさしく揺れる4月8日、入学式が行われました。

東温市副市長をはじめ、四国がんセンター院長、看護協会、お世話になっている実習施設の看護部長など、多くの来賓の皆様にご臨席を賜りました。そして、ご家族、病院職員、学校職員、在校生が見守る中で、西村学校長が入学生40名に入学を許可し、「医療の場において信頼される専門職業人となるために、3年間頑張って勉強して欲しい」と励ましの言葉を述べました。

これに答えて入学生代表が、「一人ひとり、大きな夢を持っている。それを達成するためなら、どんなに辛くても将来の自分に近づくために、同じ夢を持った仲間同士で助け合い頑張っていく」ことを誓いました。

諸君の入学を許可します。



### ちよつと言い放し

愛媛病院ニュース編集委員の持ち回りでお届けします。

時計を見ずに一分を計るとすると、子どもだと短めにカウントし、お年寄りには長めにカウントするという。時計がないと生活に支障をきたしてしまうのは人間だけであらう。人間以外の動物は時計を持たない。暗闇の中でも二十四時間という周期を体内に持っているようだ。一分一秒、狂いのないときを刻む時計は現代社会において必須である。今や時計は電池式がほとんどだ。電波時計まで出ている。

ところでずいぶん昔々の話だ。高校に入学する際、祖父が機械式の時計を私にくれた。その時計は三十四年前に祖父が購入した時計だそう。時計に興味はなかったが自転車通学であった当時の私は重宝した。周りの友達は電池式の時計で、私は少し傷の目立つ祖父から譲りうけた時計で過ごした。機械式時計を持つて学生生活を送っていたのは私だけだろう。その後も人生の壁に突き当たった時や、喜怒哀楽様々な場面で、いつもこの時計を身につけ乗り越えてきた。

祖父が私に時計をくれたのは何故だろうか。祖父とともに歩んだ人生と、さらに私とともに時を刻んでいく時計をいまは愛着を持って大切に使っている。祖父は今も元気に暮らしているが、その時計を見るたびに時刻だけでなく祖父を思い出す。一つの記憶装置のようだ。

先日、私は機械式の時計を買った。祖父から譲り受けた時計を頻繁に使いすぎないようにするために。物があふれかえる時代こそ、親から子、孫へと語り継ぎ受け継がれていくものがあったかもしれない。

T2





# 外来診療担当医表

内科外来直通電話 089-990-1834 FAX 089-990-1858  
 外科外来直通電話 089-990-1835 FAX 089-990-1859

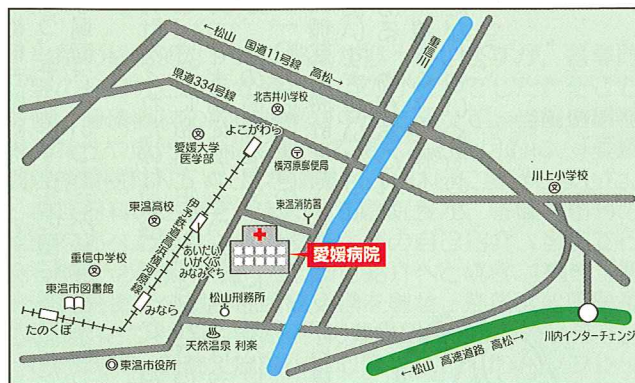
| 診 療 科                    |            | 月             | 火                      | 水                      | 木                      | 金                      |
|--------------------------|------------|---------------|------------------------|------------------------|------------------------|------------------------|
| 内 科                      | 循 環 器      | 岩田(午前)        | 橋 田                    | 橋田(午前)                 | 岩 田                    | 船 田                    |
|                          |            | 船 田           |                        | 森 岡                    |                        |                        |
|                          | 消 化 器      | 廣 岡           |                        | 古 田                    | 久 保                    | 久保(午前)                 |
|                          | 呼 吸 器      | 阿 部           | 市 木                    | 西 村                    | 阿 部                    | 市木(午前)                 |
|                          |            | 佐藤(午後)        | 渡 邊                    |                        | 植 田                    | 三好(午後)                 |
| 神 経                      | 河野(第1・3午前) | 宮崎(午前)        |                        |                        | 戸 井                    |                        |
|                          | 橋本(第2・4午前) |               |                        |                        |                        |                        |
| 専 門 外 来<br>( 完 全 予 約 制 ) |            | 心臓リハビリ<br>橋 田 | アスベスト外来<br>13:00～16:00 | ペインクリニック 山内            | 肺がん検診<br>西村・午後         | じん肺外来<br>西村 第1・3(午前)   |
|                          |            |               |                        | 心臓リハビリ外来<br>8:30～12:00 | スキンケア外来<br>第2・4(午前)    | 禁煙外来<br>佐藤 14:00～16:00 |
|                          |            |               |                        | 神経難病 橋本                | アスベスト外来<br>13:00～16:00 | 心臓リハビリ<br>橋田           |
|                          |            |               | 心臓リハビリ<br>橋田(午後)       | 心臓リハビリ<br>橋田(午前)       | 糖尿病外来<br>古川(隔週)        |                        |
|                          |            |               | SAS外来 植田               |                        |                        |                        |
| 外 科                      |            |               | 鈴 木                    |                        | 消化器外科<br>渡部(隔週)        |                        |
|                          |            |               |                        |                        | 呼吸器外科<br>澤田(第1予約制)     |                        |
|                          |            |               |                        |                        | 呼吸器外科<br>末久(第3予約制)     |                        |
|                          |            |               |                        |                        | 呼吸器外科<br>山下(第5予約制)     |                        |
|                          |            |               |                        |                        | 心臓外科<br>泉谷(第2・4予約制)    |                        |
| 整 形 外 科<br>午 前 の み 診 療   |            | 宮 本           | 曾我部                    | 曾我部                    | 宮 本                    | 曾我部(第1・3・5)            |
|                          |            | 横 手           |                        |                        |                        | 横 手                    |

※外来受付は午前8時30分から午前11時までです。ただし、土・日・祝祭日・年末年始(12月29日~1月3日)は休診です。 2010年7月1日現在  
 ※容体急変の心臓疾患・急性呼吸不全の患者様は24時間受け入れいたします。  
 ※SAS(睡眠時無呼吸症候群)

## 独立行政法人国立病院機構 愛媛病院

〒791-0281 愛媛県東温市横河原366 TEL 089-964-2411 FAX 089-964-0251  
 ホームページアドレス <http://www.ehime-nh.go.jp>

## 当院の位置と交通



### 高速道路川内ICまでの所要時間

- 三島川之江IC(70km) 50分
  - 高松西IC(130.9km) 1時間30分
  - 徳島IC(170.9km) 1時間50分
  - 高知IC(130.1km) 1時間30分
- (川内ICから当院まで車で5分)

### 交通機関

- 電車 伊予鉄高浜横河原線横河原駅下車徒歩7分  
または、愛大医学部南口駅下車徒歩3分
  - バス 伊予鉄松山市駅川内方面行横河原下車徒歩10分
  - 自家用車 松山市から30分 伊予市から40分 西条市から60分
- 無料駐車場完備